



公益財団法人 長崎平和推進協会
<https://www.peace-wing-n.or.jp>

- ロシアによるウクライナへの軍事的侵攻に抗議する理事長コメント
- Instagramで「被爆者の言葉」を発信
- 令和4年度 長崎平和推進協会の事業計画・予算
- 参加者大募集！（青少年ピースボランティア・国際青年平和交流事業・秋月 Grant）
- 被爆体験の深化講座 ■市民対象碑めぐり
- アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム
- 長崎原爆・平和展 ■平和学習用資料を無料で貸し出しています ■SDGsに取り組んでいます
- 会員の広場 ■TOPICS!（三菱UFJ銀行様より多額のご寄附をいただきました、ほか）

16 平和と公正を
すべての人に



NO MORE WAR

NO MORE HIBAKUSHA

ロシアによるウクライナへの軍事的侵攻に抗議し、 理事長コメントを公表しました

令和4年2月24日、ロシアのプーチン大統領はウクライナ東部国境で「特別軍事作戦」を実施すると発表し、ウクライナへの侵攻を始めました。

この状況に抗議し、2月28日、当協会では理事長コメントを公表しました。

ロシアによるウクライナへの軍事的侵攻が続く中、プーチン大統領が核戦力を念頭に抑止力を特別警戒態勢に置くよう命じたことに、憤りを感じ、強く非難します。

原爆の惨禍を経験した被爆者は、被爆後77年間「長崎を最後の被爆地に」と懸命に訴え続けてきました。今回の行動は核兵器禁止条約が発効して1年を迎えた矢先、被爆者と平和を願うすべての人々の切なる思いを踏みにじるものです。

核兵器を使用することは絶対にあってはなりません。

今年1月にロシアを含む核保有5か国が「核戦争に勝者はなく、決して核戦争をしてはならない」と世界に発表した共同声明の根本に立ち返ってください。

核兵器国間の対立が核戦争につながるならいよう、早急に軍事行動の停止と関係国間の対話が必要です。対話と外交により平和的解決への道を探ることを強く求めます。

令和4年2月28日

公益財団法人 長崎平和推進協会
理事長 調 漸

Instagramで「被爆者の言葉」を発信

ロシアによるウクライナへの軍事的侵攻が続き、世界中の人が心を痛めています。核を念頭においた威嚇、原爆への砲撃など、被爆後77年間「長崎を最後の被爆地に」と懸命に訴え続けてきた被爆者や平和を願うすべての人々の切なる思いが踏みにじられています。

当協会に所属する継承部会員(被爆者)は、自らの被爆体験を語ることで、二度と被爆者が生まれないように、核兵器のない世界が一日も早く来るようにと訴え続けています。二度とあの惨状を繰り返さないために、被爆者の言葉を改めて届けたいと、3月9日から協会Instagramで「いま世界に届けたい被爆者の言葉」の配信を始めました。ウェブサイトにも掲載します。





1

平和推進事業費

65,730,000円 (下記1～5の事業費+人件費・事務費42,659,000円)

1

広報事業費 1,695,000円

- **会報等の発行**…会報「へいわ」、情報BOX、平和のあゆみ等の発行。紙媒体からインターネット等を活用した手法への移行に取り組む
- **ウェブ等の活用**…協会ホームページ改修、LINE・Instagram・YouTube等での情報発信、広告媒体での周知活動等

2

啓発事業費 3,402,000円

- **平和学習**…修学旅行生等への被爆体験講話の実施、外国語ボランティアガイドの派遣・研修、平和学習用資料の貸出など
- **講演会等**…平和への認識を深める講演会の他、音楽・スポーツなど平和の文化と連携した事業の実施
- **国連軍縮週間行事「市民のつどい」**…国連軍縮週間に合わせた「市民のつどい」の開催

3

継承事業費 (長崎市からの委託事業) 11,589,000円

- **県外原爆・平和展**…写真・被災資料の展示、被爆体験講話やビデオ上映を通して、核兵器廃絶と平和に対する意識高揚を図る
- **語り継ぐ被爆体験(家族・交流証言)**
…被爆者の被爆体験を語り継ぐ「家族・交流証言者」を育成・支援し、次世代の語り部への継承を推進する
- **青少年ピースボランティア育成**
…青少年が原爆や戦争について学び、様々な視点から平和について考え、行動する場を提供することで、被爆体験の継承等に取り組む
- **青少年ピースフォーラム**
…8月8・9日に全国の使節団と長崎の青少年が被爆の実相や平和について学習し、交流を深めることで、平和意識の高揚を図る
- **青少年平和交流**
…3年に1回の「少年平和と友情の翼」事業を行い、長崎市内の中学生を沖縄県に派遣。平和施設の見学や同世代との交流で、戦争を学び、平和を希求する心を育成する
- **平和学習発表会**
…長崎市内の中学生が集まり、日頃取り組んでいる平和学習の成果等を発表することで、各学校の取り組みを知り、更に発展させる

4

調査研究費 100,000円

平和・軍縮関係の会議等に役員・職員等を派遣し、情報収集とともに、関係機関との連携・意見交換を図る

5

育成事業費 6,285,000円

- **部会活動**…会員が市民とともに平和意識の啓発・高揚を図るために、4部会(継承・国際交流・写真資料調査・音楽)の活動を支援。次世代育成と活動の活発化を検討する
- **平和案内人派遣**…原爆資料館・追悼平和祈念館・被爆建造物等を案内するボランティアガイドの活動を支援
- **国際青年平和交流事業**
…長崎の若者から平和に関する自由な企画を募集する。認定した企画を支援
- **平和事業への支援**
…協会の趣旨と合致する音楽祭や講演会、シンポジウムなどを共催・後援することで、平和事業推進を支援
- **秋月グラント**
…被爆の継承や平和意識高揚のための事業を実施する団体への助成で事業・活動を支援

2

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業

263,423,000円

平成15年に開館した「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」の管理・運営を国から受託。

新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら、被爆関連資料・情報の収集・提供、国際交流・交流事業などの他、被爆体験の継承事業として、「被爆の実相の伝承」のオンライン化・デジタル化にも取り組む

3

収益事業 2,698,000円

原爆や平和に関する書籍やグッズを作成し、原爆資料館売店等で販売。利益50%は平和推進事業の財源にも充当させる

4

法人会計 4,859,000円

公益法人を適正に運営するために、定期的に理事会、評議員会等を開催



参加者 大募集!

当協会は「核兵器廃絶と世界恒久平和の実現」を目指し、会員や市民の皆様にご協力をいただきながら活動しています。

その目標実現に向けて、「原爆についてもっと知りたい」と思う方々への学習の場の提供や、「平和な未来のために何ができるか」と考え、被爆体験の継承や平和意識の高揚を図るための活動に取り組む方々を支援しています。

活動の一部をご紹介します。是非一度、挑戦してみませんか？

●詳しくは、協会ウェブサイトをご覧ください。
お電話（TEL:095-844-9922）でも承ります。



協会ウェブサイト
はこちら

青少年 ピースボランティア

長崎原爆の実相や戦争について学び、平和について考え、行動することにより、被爆体験の継承と平和意識を高めることを目的としたボランティア活動です。

月に1〜2回程度、原爆資料館など長崎市内で学習会等を開催する他、長崎原爆の日（8月9日）に向けたイベントの企画・運営や平和祈念式典でのボランティア、長崎県内外の戦争・平和関連施設の研修ツアーなども実施しています。

また最近では、被爆者との交流会、英語で被爆体験を読む取り組み、「千羽鶴」合唱動画制作など、自主企画も活発になってきています。

他の高校・大学に通う方々、色々な活動に取り組んでいる方々と知り合う機会もあります。

いつでも参加者を募集していますので、まずは事務局へお気軽にお問い合わせください。

インスタで
情報発信
しています!



PEACE_WING0809

募集 対象

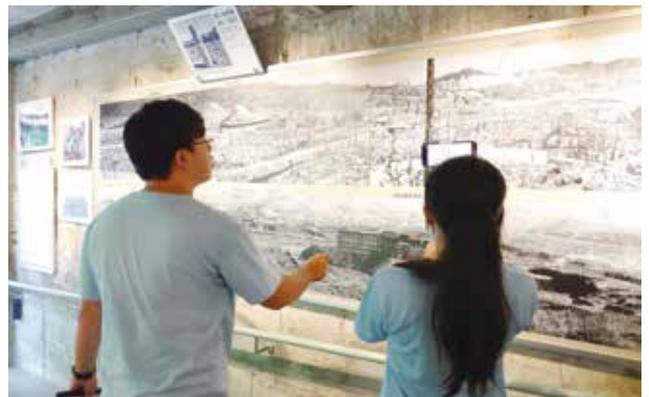
15歳～29歳の方
(中学生は除きます)

申込 方法

協会ウェブサイトからダウンロードした
「参加申込書」をメールでお送りください
Mail:peacevolunteer@peace-wing-n.or.jp



ダウンロード
はこちら



国際青年平和交流事業

(旧・アジア青年
平和交流事業)

「核兵器廃絶と世界恒久平和」の実現を目指すため、若者が自ら考える企画を応援する事業です。「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」をテーマに、長崎県内在住の若者から企画を募集し、その活動実施に係る金銭面を援助します。

これまでは高校生・大学生を対象としましたが、令和4年度から対象者を拡大します。また多くの方が取り組みやすくなるよう、募集期間を変更しました。

あなたがやってみたいことに挑戦してみませんか？自由な企画・提案をお待ちしています。



募集対象

長崎県内在住の15歳以上29歳までの個人またはグループ
(ただし中学生は除きます)

募集期間

4月1日(金)
～5月31日(火)

募集内容

原爆・核兵器・環境・教育などの社会的・国際的な問題について、下記①・②のいずれかに該当するもの

委託金額

個人:上限10万円
団体:上限20万円

- ①自分たちがやってみたいと思う活動、または日頃から取り組んでいる内容を更に発展させた活動など、世界の若者等と長崎の若者の交流や相互理解が図られているもの
- ②原爆や平和、国際交流について学ぶ、または考える機会を取り入れているもの

秋月グラント

「核兵器の廃絶と世界恒久平和」の実現を目指す事業として、被爆体験の継承や平和意識高揚のための事業を実施する個人や団体を対象に助成を行います。

これまでは助成対象の範囲を長崎市内としていましたが、令和4年度からは長崎県内へ拡大して募集します。

この制度は協会設立15周年(平成10年)を機に「ナガサキ平和創設グラント」として始まり、平成16年に協会の初代理事長である秋月辰一郎氏を顕彰しようと「秋月グラント」と名称を改め、多くの方にご利用いただいています。

平和に関する企画を、ぜひご応募ください。

令和3年度助成事業「Pray for Peace Collection」



助成対象

①～②のいずれかに該当する方

- ①国内外で事業を実施する、長崎県内の個人または団体
- ②長崎県内で事業を実施する、長崎県外の個人または団体

対象事業

①～④のいずれかに該当する事業

- ①被爆・戦争体験を後世に伝えるための活動企画
- ②国内外において、国際的な平和交流を目的とした新規の活動企画
- ③調査研究・資料収集・教育などの幅広い平和啓発のための新たな活動企画
- ④その他、被爆体験の継承や平和意識高揚のための活動企画

助成金額

上限20万円
ただし事業費全体の4分の3の範囲内とする

募集期間

4月1日(金)～5月31日(火)

継承部会・原爆遺跡研修班主催

「市民対象碑めぐり」



日時：5月8日（日）10：00～12：00

集合：長崎中央公園 ※雨天の場合は中止です

継承部会・原爆遺跡研修班による「市民対象碑めぐり」を開催します。

今回は、長崎中央公園周辺や真宗大谷派長崎教務所を巡ります。築町・江戸町周辺の建物疎開を体験した継承部会員（被爆者）が、自らの被爆体験を交えながら、強制疎開について、当時の町の状況などをお話しします。現地で被爆者の話を聞ける機会です。是非ご参加ください。

※3月に開催予定でしたが、5月に延期となりました。

継承部会・継承交流班主催

「被爆体験の深化講座」



日時：4月29日（金・祝）13：30～15：30

場所：長崎原爆資料館 平和学習室

継承部会・継承交流班では、被爆体験の継承を更に深めていくために「被爆体験の深化講座」を開催しています。この講座では毎回異なるテーマを定め、当時の状況や体験などを継承部会員（被爆者）がお話ししています。また参加者が体験を話したり、質問に答えたりする時間もあります。

今回は、「空襲」についてです。是非、ご参加ください。

※2月に開催予定でしたが、4月に延期となりました。

長崎原爆・平和展

in 東日本大震災・原子力災害伝承館

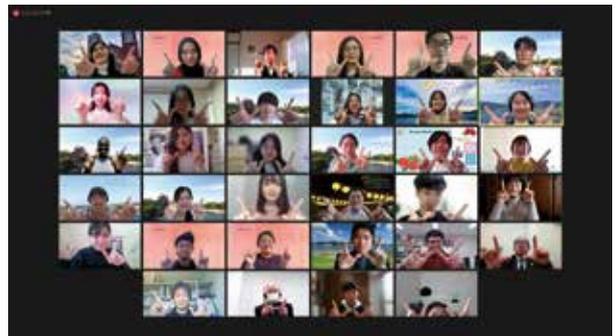


3月5～21日、福島県双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館で「長崎原爆・平和展」を開催しました。

福島県は11年前の東日本大震災において経験した、地震・津波・原子力災害という未曾有の甚大な複合災害の記憶や復興への過程を、今後の教訓となるよう次世代へ伝えていく継承活動に取り組みられています。今回の長崎原爆・平和展は、原爆と原子力災害の経験を風化させず、次世代へ継承する想いを共有することを目的に開催しました。

長崎原爆に関する写真パネルと共に、震災発生後に長崎大学が福島県に支援物資を提供した様子など、長崎と福島との繋がりを示すパネルも展示されました。最終日には、被爆体験講話を実施しました。

アジアの若者による 平和ネットワーク構築プログラム



2月26日、「アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム」を開催し、長崎・広島・沖縄の他、韓国・マレーシアの大学生等、約60人が参加しました。

昨年に引き続きオンライン開催となりましたが、参加者はそれぞれ、動画やSNSを使った情報発信の様子など日頃の活動を報告し、「コロナ禍での活動の取り組み方や被爆体験等の継承のあり方について意見を交わしました。またICAN国際運営委員の川崎哲氏の基調講演、被爆者の山脇佳朗さんによる被爆体験講話も実施しました。田上富久・長崎市長の特別セッションでは、継承の課題や他地域との連携などを質問していました。

写真パネル・DVDを無料で貸し出しています



当協会では、修学旅行等での事前学習などに役立てていただくため、長崎原爆による被害の様子をまとめた写真パネルセット、原爆について学べるDVDを無料で貸し出しています。

今回、貸出用写真パネルセットをリニューアルしました。一部を米国国立公文書館で新たに見つけた写真などに差し替えた他、説明文も見直しを行っています。また、小学生にも分かりやすいよう、説明内容をやさしくし、文字を大きくしたセットも新たに作成しました。

貸出用DVDは、原爆が投下された直後の長崎の街を撮影した映像や被爆者の証言等をまとめたもの、アニメーションなど多数そろえています。

平和学習に是非、ご利用ください。

写真パネル

申込方法：「長崎原爆被災写真パネル借用願」をお送りください
事前予約が必要ですので、まずは事務局へお電話ください
貸出期間：1ヵ月以内（原則）なお1団体につき、1セットまでとします

パネル貸出
のご案内は
コチラ



DVD

申込方法：「DVD（ビデオ）借用願」をお送りください
事前予約が必要ですので、まずは事務局へお電話ください
貸出期間：10日間 なお1団体につき、最大3本までとします

DVD貸出
のご案内は
コチラ



【お問い合わせ先】長崎平和推進協会 TEL 095-844-9922

SDGsに 取り組んでいきます！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

16 平和と公正を
すべての人に



近年よく耳にする「SDGs」とは、Sustainable Development Goalsの頭文字をとったもので、「持続可能な開発目標」を意味します。将来の世代のため、環境や資源を壊さず、今の生活をより良い状態にするための目標です。

核兵器廃絶と世界恒久平和を目指して活動をしている当協会では、SDGsの目標16「平和と公正をすべての人に」に取り組み、みんなが安心して参加できる平和な社会を作るべく、活動していきます。取り組んだ活動については、随時、お知らせします。

No. 20



お便りをお寄せください！

平和推進協会では、会員の皆様よりお便りを募集します。会報をご覧になってのご意見、ご感想、お便りなど、会員の皆様の声をお寄せください。

E-mail : info@peace-wing-n.or.jp
〒852-8117 長崎市平野町7-8
長崎平和推進協会
「会員の広場」係

いくらか知識があつて、「戦争はいけない。」と思つていても、それを「自分ごと」として考えられなければ、社会を変える行動に繋がることはない。原爆のこと、戦争のことを「自分ごと」として、より多くの人に考えてもらうため、私はこれからも平和の大切さを発信していく。

学生会員 田中 音色



Peace Wing Nagasaki
会員の広場

長崎をはなれ、福岡県の高校で寮生活を始めてもうすぐ一年になる。ある日、長崎での平和活動を高校で出会った友人たちに話した。

友人は原爆について知っているものの、特に関心を持っていなかった。「他人ごと」として受けとめていた。何度も被爆者の方のお話を聞き、消えることのない「自分の」記憶になつている私は、とても驚いたし、悲しくなつた。



TOPICS! へいわトピックス

(株)三菱UFJ銀行様より、 多額のご寄附をいただきました。

(株)三菱UFJ銀行様より、当協会に多額のご寄附をいただきました。三菱UFJ銀行様では、利益の1%程度を社会貢献活動に拠出する枠組みを構築・運用しており、その一環として今回、長年、被爆体験の継承に取り組んでいる団体として、当協会が選ばれました。

いただいたご寄附は、当協会が取り組む平和推進事業に活用させていただきます。【増子長崎支店長(右)から中川事務局長(左)へ】



ボランティア合同研修会を実施しました。

1月16日、原爆資料館ホールで「記憶を紡ぐデジタル・ストーリーテリング」講演会を開催しました。

家族・交流証言者や永遠の会、平和案内人など協会で活動するボランティアの合同研修会として、名古屋大学の小川明子准教授より、戦争等の体験の継承への取り組み、写真・肉声を用いた映像(デジタル・ストーリーテリング)の活用などについてお話しいただきました。また、何を伝えなければならないかという選択、話し手と聞き手の年齢や経験・知識量の差による伝え方の難しさなどの話題では、聴講者が共感する部分もあり、今後の活動・取り組みの参考となりました。



「長崎国際平和映画祭」を開催しました

12月19日、原爆資料館ホールで「長崎国際平和映画祭」を開催しました。

「ヒロシマへの誓い〜サーロー節子とともに〜」、「Sakura & Pearls:Healing from World War 2」、「NAGASAKI 1945 アンゼラスの鐘」の3本を上映した他、Sakura & Pearlsに出演した被爆者の森重昭さん(広島)、山脇佳朗さん(長崎)、ジョージ・K・ハンター監督によるオンライントークセッションも行いました。

ご来場、ありがとうございました。



世界の核弾頭の数

	ロシア	米国	中国	フランス	英国	パキスタン	インド	イスラエル	北朝鮮	合計
2021年6月1日	6,260	5,550	350	290	225	165	160	90	40	~ 13,130

長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) 提供 <https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

寄附者紹介

ありがとうございます

◎株式会社三菱UFJ銀行 (敬称略)

◎大久保 一哉 五十万円

◎田畑 祐子 三万円

◎上西 和紀 一万円

◎川上 正徳 一万円

◎白鳥 純子 一万円

◎匿名(一件) 二千元

会員数報告

◎維持会員 1,026名

◎賛助会員 167名

◎学生会員 11名

令和4年3月17日現在

賛助会員(団体・法人)の二覧は協会ホームページに掲載しています。

ご支援・協力誠にありがとうございます。会員拡大にもご協力をお願いいたします。

会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。

今年度まだ会費を納めていただけない方は、何卒趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局で納入くださいますようお願いいたします。

お支払いいただいた会費は、源泉所得税の税額控除の対象になります。詳しくは当協会ホームページを、ご覧くださいか、事務局までご連絡ください。